

第3学年 国語科 シラバス

◎中学校の国語科では…

国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる

ことを目標としています。

◎中学3年生の国語科では……

A 「話すこと・聞くこと」

自分のものの考えを深め目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりしようとする態度を身につけさせるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てます。

B 「書くこと」

様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身につけさせるとともに、文章を書くことに生活を豊かにする態度を育てます。

C 「読むこと」

目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身につけさせるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てます。

☆本校ではこれらの目標を次の「学習計画」「評価の観点・評価の方法」「授業の特色」を基に達成をめざします。

原山中の国語科はこんな授業です！

様々な学習プリントを活用して、わかりやすい授業を目指します。

ファイルとルーズリーフノートで使いやすいノートを作ります。



自ら設定した課題について調べたり、作品を創作したり、様々な活動を取り入れて、国語力を高めます。

国文法については、工夫して覚えたり、練習問題を繰り返したりします。

古典の学習の際、資料を見たり暗唱をしたりして、興味をもてるよう工夫します。

漢字や語句の基本的な知識の定着を目指すとともに美しく整った字を書く練習します。

国語に関する関心・意欲

授業に意欲的に参加し、豊かな言語感覚を身につけようとしているか。

評価の観点

国語科では次の5つの観点で評価します。

書くこと

自分の立場を明確にし、具体的に書き表しているか。

話すこと・聞くこと

目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりしているか。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

古典や様々な文章を通じて文字や語句の知識や技能が身に付いているか。

読むこと

目的や意図に応じて文章の内容を正確に読み取れるか。

これらの観点を…

学習計画

期	月	学習内容	学習のねらい		
1 学期	4	・春に ・立ってくる春 ・「新しい博物学」の時代	・詩に描かれた気持ちと比較しながら、自分の気持ちを見つめる。 ・表現に注目し、筆者の思いを味わう。		
		・敬語 ・私 ・広告を批評する	・筆者の考えと具体例との関係を読み取り、全体の構成をとらえる ・文と文との関係を考えながら読む。 ・社会生活における敬語の役割について考える。 ・場面に応じた敬語の使い分け方を知る。 ・場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容理解を深める。 ・文章の形態を選択して書く。 ・コピーのよさや工夫されている点について、批評文にまとめる。		
	6	・硬筆 ・付属語 ・話を聞いて自分の表現に生かす	・硬筆を行書で、縦書きの罫紙に漢字と仮名を調和して書く。 ・助詞や助動詞について理解し、正しく使えるようになる。 ・話を聞き、話の内容や話し方の良い点に学び、自分のものの見方や考え方を深める。		
		7	・慣用句・ことわざ ・無言館の青春	・日常の生活言語をいつもと違った視点から捉え直す。 ・戦没学生たちのことを伝える文章の構成や展開、表現の仕方の特徴について自分の意見をまとめる。	
	2 学期	9	・近代の俳句 ・和語、漢語、外来語 ・旅への思い	・表現上の工夫に注意して、作者の思いを捉える。 ・和語、漢語、外来語について理解し、使い分ける。 ・人生を「旅」ととらえる芭蕉の生き方と、俳句との関係を理解する。 ・冒頭部分を暗唱する。	
			10	・和歌の調べ ・風景と心情	・作者たちの自然や人間に対する感じ方について考える。 ・漢詩の形式を知り、その言葉の響きやリズムなどに注意して暗唱する。
			11	・文法の復習 ・文体練習 ・歴史は失われた過去か	・今までに学習した国語法を振り返る。 ・文章全体を整えて書く。 ・原稿用紙の正しい使い方を確認し、課題作文の書き方に慣れる。 ・構成や展開、表現の仕方を捉え、筆者の考えをとらえる。
12		・自己PR文を読み合う ・情報を編集するしかけ ・文学史の学習		・中学校生活を振り返り、自己PR文を書く。 ・文章を読み合い、自分の表現に生かす。 ・情報を編集するしかけとはどのようなものかを知る。 ・国内外の著名な文学作品とその背景を知る。	
		3 学期	1	・書き初め ・故郷	・毛筆行書の美しい書き方を学ぶ。 ・人物の描写に注意しながら読み、主人公にとっての「故郷」を考える。 ・作者のいう希望について考える。
2			・スピーチで学びを振り返る	・経験を整理し、スピーチで自分のよさを伝える。敬語を用いて、場の状況や聞き手に応じて話す。	

学習計画は、実態に応じて変更になることがあります。
必要に応じて便覧・文法・漢字の副教材を使用します。

次の方法で評価します。

国語への関心・意欲・態度

- ・授業への積極的な参加
- ・提出物
- ・国語を学ぼうとする姿勢等で評価します。

話すこと・聞くこと

- ・授業中の発言や聞き取り
- ・話し合いや発表・スピーチ
- ・音読・朗読・暗唱テスト等で評価します。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・漢字テスト・文法テスト
- ・定期テストの言語事項問題
- ・書写等で評価します。

書くこと

- ・ノートやワークシートへの記入
- ・詩・作文・感想文
- ・定期テストの記述問題等で評価します。

読むこと

- ・ノートやワークシートの内容
- ・文章の読解に関する質問
- ・定期テストの読解問題等で評価します。